



《御代宿初秋》[福島県郡山市湖南町三代]1965年



《大山詣での道》[神奈川県伊勢原市子易]1966年



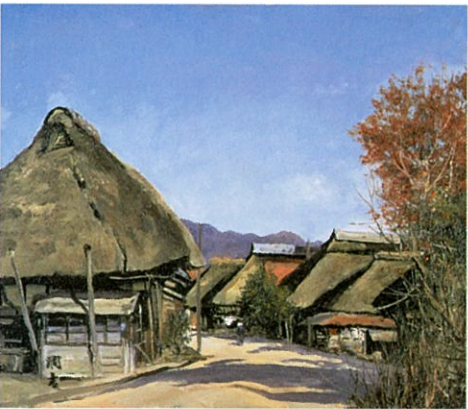
《雨後檐下宿》[山形県上山市橋下]1970年



《西京道桑原宿》[長野県更埴市稲荷山]1970年



《古壁の秋》[奈良県奈良市高畑町福井、奈良新薬師寺近く]1971年



《旧関旗宿》[福島県白河市旗宿]1972年



《北国街道白雨》[新潟県西蒲原郡巻町福島]1975年

## 向井潤吉 民家と街道

かつて江戸を基点につくられた五街道をはじめ、全国各地の街道は、明治以降の鉄道や自動車道といった交通網の整備を経て、現代の私たちの生活においても、さまざまなかたちでその名残を留めています。また、街道沿いの宿場は行き交う物や人の出会いの場として、独特の風情ある景色が醸成されていきました。

洋画家・向井潤吉(1901—1995)は、戦後、全国各地の草屋根民家を描くなかで、こうした歴史の重なりを感じさせる街道や宿場の風景にも数多く出会いました。向井は民家を探し出す際、地図を頼りに「街道」という地名の残る土地を巡ることも多かったといえます。道筋に立ち並ぶ民家、木漏れ陽の道、雨に濡れた宿場の道——。いずれの作品も、山野に抱かれる民家とはまた異なる、旅情豊かな向井の感慨がこめられています。

本展では、向井潤吉が描いた街道や宿場を中心に、人々の暮らしをつなぐ往来とともに描かれた民家の風景をご紹介します。油彩、水彩作品とあわせて、妙味あふれる旅のエッセイもお楽しみください。

イベント  
情報

担当学芸員による  
ギャラリートーク

6月9日(土)11:00～、8月4日(土)11:00～

\*いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前申込不要

世田谷美術館分館

# 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL: 03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



©宮本和義

【交通案内】

東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分 / 東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分 / 東急バス(渋05) 渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分 / 東急バス(等11) 祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(等13) 梅ヶ丘駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(渋11) 渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分 / 東急バス(渋12) 渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066  
東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL: 03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

◆清川泰次 色と色のハーモニー  
4月3日(火)～8月26日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083  
東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL: 03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

◆宮本三郎 親密な空間 Saburo Miyamoto: The Intimate Space  
4月3日(火)～8月26日(日)



©宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL: 03-3415-6011(代表)

【展覧会のご案内】TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

\*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催

企画展

人間・高山辰雄展——森羅万象への道 | 4月14日(土)～6月17日(日)

没後40年 濱田庄司展 大阪市立東洋陶磁美術館 堀尾幹雄コレクションを中心に | 6月30日(土)～8月26日(日)

ミュージアム  
コレクション

ミュージアム コレクションI それぞれのふたり 小堀四郎と村井正誠 | 4月14日(土)～7月8日(日)

ミュージアム コレクションII 東京スケイプ Tokyoscape (仮称) | 7月21日(土)～10月21日(日)